

科目	現代の国語	単位	2	学年	1
使用教科書	高等学校 現代の国語(第一学習社)			副教材等	・「新常用漢字必携 パーフェクトクリア」(尚文出版) ・「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版)

学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとめている。

種	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
一学期	「生きもの」して生きる(中村桂子)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、まとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 学習課題プリント 定期考査 評価シート
	羅生門(芥川龍之介)	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 比喻などの修辞を理解する。 主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 学習プリントの提出 評価シート
	論理的な表現	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 説得力を意識した表現の仕方について理解する。 進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、自分の考えを表現しようとしている。 	○	○	○	授業態度 学習プリントの提出 評価シート
	水の東西(山崎正和)	<ul style="list-style-type: none"> 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 文章の効果的な接続の仕方を理解する。 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	○	○	○	授業態度 発表内容 評価シート 発表内容
	スピーチで自分を伝える	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を理解している。 	○	○	○	授業態度 発表内容 評価シート 発表内容
	「文化」としての科学(池内了)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 科学や技術について述べた文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている 	○	○	○	授業態度 発問評価 レポートの提出 定期考査 評価シート
	情報源の明示	<ul style="list-style-type: none"> 引用の目的とその効用を理解する。 引用を適切に活用できるようになる。 進んで引用の目的と方法を理解し、例を踏まえて理解しようとしている。 	○	○	○	授業態度 調査とまとめ レポートの提出 評価シート

期	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
	社会に対する意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> 意見文とはどういうものかを理解する。 意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 意見文の提出 評価シート
二 学 期	ものとことば（鈴木孝夫）	<ul style="list-style-type: none"> 具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表内容 定期考査 評価シート
	夢十夜（夏目漱石）	<ul style="list-style-type: none"> 「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 解釈した内容を工夫してまとめ、積極的に紹介文を書こうとしている。 	○	○	○	授業態度 紹介文の提出 発問評価
	書き方の基礎レッスン	<ul style="list-style-type: none"> 表記・表現の基本ルールを理解する。 接続表現の種類や用法、比喩などを理解する。 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 紹介文の提出
	論理分析【事実と意見】 「私作り」とプライベート（阪本俊生）	<ul style="list-style-type: none"> 文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 要約文の提出 定期考査 評価シート
	現代の「世論操作」（林香里）	<ul style="list-style-type: none"> 情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて話し合っている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表内容 定期考査 評価シート
	情報の探索と選択	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を探す方法を理解する。 情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 	○	○	○	授業態度 レポートの提出 発表内容 評価シート
	フェアな競争（内田樹）	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 接続の仕方に注意して内容・構成を捉え、学習課題に従ってまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 学習プリントの提出 定期考査 評価シート
三 学 期	日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> 労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を理解する。 複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 発表内容
	不均等な時間（内山節）	<ul style="list-style-type: none"> 具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 近代における時間について述べた文章を読み、積極的に自分の考えや意見をまとめようとしている。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査 評価シート
	城の崎にて（志賀直哉）	<ul style="list-style-type: none"> 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めるなどして、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 作品に表れた死生観を積極的に読み取り、意見をまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 レポートの提出 評価シート